

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: R4 年 2 月 22 日

事業所名: こどもプラス谷山教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動によってスペースの使い方を工夫している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			適切でない箇所には安全策を講じている。	
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				非常勤職員も参画できるよう療育の前と後でミーティングをしっかりと行う
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				年に一度保護者向けアンケートを実施し、調査結果を職員全員で協議し業務改善につなげていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				保護者向けアンケートの調査結果や自己評価の結果はホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				グループ会社指導員の巡回があり、運動の活動の研修や療育に関する研修、相談、アドバイスがある。非常勤の職員も受講できるよう今後検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				運動保育士の資格認定研修の他、感染対策の研修受講非常勤職員にも周知する。内部研修の充実をはかる。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				田中ビネー知能検査などのツールを今後の支援計画にいかしていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者が立案し皆で話し合っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			運動活動・静かな活動共に固定化しないよう毎回内容を変えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇の活動は普段できないような内容を組み入れることで、きめ細やかに支援ができるよう工夫している。	計画していたクッキングなどの活動がコロナ禍でできなかった。今後は自立に向けた体験活動を多く取り入れていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員全員が参加し事前の打ち合わせで活動での役割や配置を確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りを必ず行っている。活動日誌に記録し全員で共有している。	非常勤職員の意見等の反映の効率化を検討する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録をとる際は他の職員にも聞き取りをして偏りがないように心がけている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				6ヶ月に1度おこなっているがコロナ禍で電話でのモニタリングが多かった。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			学校休日の際は季節ごとの創作活動、社会経験、集団遊びを組み合わせる活動を組んでいる。	計画していた体験活動がコロナ禍でできなかった。今後は自立に向けた体験活動を多く取り入れていきたい。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加している	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			年間計画や週報等で確認している。	学校での様子が聞けるように送迎時の工夫が必要。計画的に連絡を取って聞けるように検討したい。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在該当児はいないが保護者からの聞き取りにより「事業所→保護者→かかりつけ主治医」の体制を整えている	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				相談事業所を通して児童の就学前の関連事業所からの情報を共有するように努めている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				現在該当児童はいない
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			児童が受診したり、受けた検査結果を保護者から提供してもらい情報共有に努めている。助言や研修を受ける機会があれば参加するよう努める。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		休日は施設外活動を多く取り入れ活動先で工作や体験活動などで一般の子どもと一緒に参加する機会がある。	交流という形での活動は今後検討する。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			今後検討する。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳でその日の様子を写真を用いて伝えている。	送迎時にその日の様子や出来事を伝えられるよう努めているが、対応が難しい場合は後ほど電話で話ができるよう努める。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			ペアレントトレーニングについて職員の研修を充実させる	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際マーカー等を用いて分かりやすい説明の仕方を工夫している。	事業所の入口付近に掲示しているが、周知して理解につながるよう努める。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		保護者からは必要ないとの意見もあり今後検討する。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			マニュアルを作成し迅速に対応できるようにしている。丁寧に話を聞くように努めている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35 個人情報に十分注意しているか	○				
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		今後検討する。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				各マニュアルは作成しているが研修等含め職員全員に 周知する。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っているか	○				年2回行っているが、非常災害時の対応を細かく打ち合 わせをする。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	○			社内研修を実施。マ ニュアルを作成し虐待防 止に関するポスターを 掲示する等の啓発活動 をしている	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説 明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に 記載しているか	○				
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか	○			保護者に聞き取り、確 認している。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい るか	○			振り返りで話し合い職 員全員で共有してい る。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)